

# マイスターネット5年間の歩み

2011年5月

NPO法人 マイスターネット

## NPO 法人 マイスターネット

設立 2005 年 11 月 29 日

### 設立趣意

企業、教育機関等で働いていた人々が、定年、早期退職、リストラ、育児退職などで離職すると、それまでその人たちに蓄えられてきた専門知識、技能等は、活用の場がなく埋没してしまいます。少子高齢化の幕開けとしてのいわゆる団塊の世代の定年適齢期到来とともに、この傾向は一段と加速化し、専門知識、技能等のかなりの部分は確実に社会から消え失せていく運命にあります。このような現象を放置すると、日本の知的財産の喪失、ひいては貧困化へとつながりかねません。

一方、離職してからもそれまで培った専門知識、技能等を社会のために役立てたいと希望したり、そのような活動に生き甲斐を感じる人々が多数いることも事実です。

そこで、これら潜在化しつつある専門知識、技能等が社会に役立つよう、会員を広く募りそれぞれの持てる専門知識、技能等を相互に交流紹介して啓発・活用化に努めるとともに、それらを出版、インターネットを通して社会に開示し、次世代への継承を図りたいと考えます。

広く不特定多数の一般市民に働きかけて多くの賛同者を得、交流紹介の場を確保するためには、営利を目的とするのではなく国民が有する専門知識、技能等を発掘して社会に役立てることを目的とする観点から、特定非営利活動法人を設立することが望ましいと考えます。

発会式 2005 年 12 月 26 日、於 アイコア

マイスターネット ホームページ <http://www.meisternet.jp/>

NPO 法人 マイスターネット(ブログ) <http://mewsternet.at.webry.info/>

設立 5 周年を記念して 5 年間の活動記録をまとめることが理事会で決定され、講演会・ワークショップの記録(担当:占部)と何枚かの写真(選択とキャプション担当:赤井)を以下に収録した。

## NPO法人マイスターネット 活動記録 (2006年～2010年)

回	年 月 日	講演者	題目	概要	出席	会場
1	6 1 28	占部浩一	気について学び、利用してみよう	「気」についての説明の後、講師が「気」を出し、参加者が感じる実演を行った。	7	アイコア
WS	6 2 21	橋本壽之	人を動かすリーダーシップ	行動科学の世界的権威P.ハーシーが導いた指導法のあり方についての基本理論を学んだ。	3	アイコア
2	6 2 25	山本利昭	インドネシア紀行『遙かなる島国』	講師がIT指導のため赴任したインドネシアの大学での活動経験を披露し、ITの普及と国際協力のあり方について学んだ。	6	藤沢市民活動推進センター
3	6 3 25	熊崎幸太郎	はりきゅう心は安らぎ心	鍼灸の理論と簡単な健康増進法の紹介を行い、中高年の健康法について学んだ。	6	藤沢市民活動推進センター
4	6 4 22	橋本壽之	"人を動かすリーダーシップ" - その理論と実践 -	P.ハーシーの指導法の復習、日本とアジア諸国の母親のリーダーシップの受け止め方の違いなどの学習を行った。	6	藤沢市民活動推進センター
5	6 6 3	赤井喜久枝	マルタとトルコの旅	マルタに2ヵ月滞在、トルコを4回訪問という講師の撮った美しい写真を見ながら、両国についての知見を深めた。	5	SFC-IV
6	6 7 1	橋本壽之	"人を動かすリーダーシップ2" - その理論と実践 -	4月22日の続編として、日常生活に焦点を当てたリーダーシップのあり方について学んだ。	6	藤沢市民活動推進センター
7	6 8 5	馬場秀雄	キャリアカウンセラの意義と役割	雇用促進のために有効なキャリアカウンセラーの歴史、実態について学んだ。	7	藤沢市民活動推進センター
8	6 9 30	永田典子	シェイクスピア「リア王」に見る、老いについて	本講座のため現地を再調査してきた講師による写真も交え、内容、名台詞を学び、老いのあり方について考えた。	6	藤沢市民活動推進センター
9	6 10 28	占部浩一	确实思考の勧め	日常生活も含め、議論の混乱を減らすため、明確な定義、実証的な根拠、正当な論理を使うことが推奨された。	5	藤沢市民活動推進センター
10	6 12 16	山本利昭	日本語学習、悪戦苦闘	オフショアビジネスの一環として、インドネシア技術者3名を日本に招聘した際の、早期日本語教育のノウハウを学んだ。	11	SFC-IV
11	7 1 20	永田典子	「早期英語(外国語)教育の是非」について	小学校での英語教育必須化問題に関し、賛成、反対のさまざまな意見を学び、各自の見解を述べ合った。	8	藤沢市民活動推進センター
12	7 2 24	大纏トシ子	インドネシアの小さな町の国際交流	多年在住する主婦の目での体験報告であり、歴史、社会、経済等にも実感的に触れた興味深い話があった。	7	藤沢市民活動推進センター
13	7 3 24	橋本壽之	ソクラテスのダブル・バインドと色即是空	創造性開発の原点をソクラテスに探り、ダブル・バインドを新たな世界への飛躍のきっかけと捉える視点を示した。	4	藤沢市民活動推進センター
14	7 4 21	占部浩一	パラドックスについて	パラドックス的な議論で騙されたり悩まされたりすることがあるが、正しい議論に必要な条件などが述べられた。	7	藤沢市民活動推進センター
15	7 5 26	赤井喜久枝	介護保険制度とは	制度の仕組み、現状、問題点などの話と、実際に親の介護に従事している方の話があった。	7	藤沢市民活動推進センター

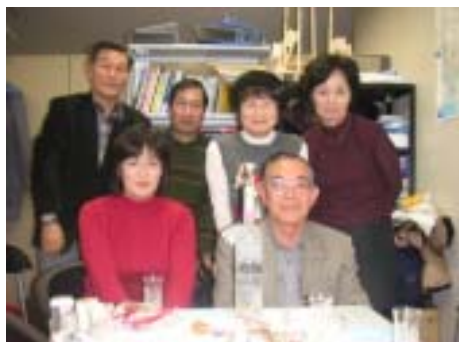
16	7	6	30	山本利昭	Simplish & Simplese	各国語の文法を簡素化すれば、異国間のコミュニケーションが容易になる。英語と日本語について試案が示された。		藤沢市民活動推進センター
17	7	7	28	橋本壽之	倫理新時代の到来とリーダーシップ	かつては倫理は自由を束縛する規制とされていたが、今や個人・組織が発展するための鍵となってきた。	7	藤沢市民活動推進センター
18	7	8	25	占部浩一	象とアリの体重は同じか	物事を的確に判断し、決断するために必要な条件が論じられた。定量性をもって事実を把握することも大切である。	6	藤沢市民活動推進センター
19	7	9	29	赤井喜久枝	イスラーム風土記 - 私のイスラームとびある記 -	講師が歩いたトルコ、モロッコ、インドネシア等の写真を見ながら、イスラーム圏の幅広い文化を学んだ。	8	藤沢市民活動推進センター
20	7	10	27	橋本壽之	企業倫理」- リーダーシップ研究大学院の授業風景	講師がリーダーシップ研究大学院博士課程で勉強した、企業倫理に関するレポート6編をもとにした講演であった。	6	藤沢市民活動推進センター
21	7	11	24	原弘之輔	香水の話	フランス香水の種類と歴史的背景および日本のフレグランス事情、特に販売と消費マーケティングの現状が紹介された。	6	藤沢市民活動推進センター
22	7	12	15	山本利昭	日本語って難しい？	日本語は難しいとは先入観ではないかと、インドネシアの若手IT技術者に日本語を教えた講師は疑問を呈した。	16	SFC-IV
23	8	1	26	永田典子	シェイクスピア人間学 - マクベスに見る夫婦像-	映画「マクベス」のDVDを見ながら、マクベスの夫婦像に迫り、韻を踏んだ台詞なども紹介された。	6	藤沢市民活動推進センター
24	8	3	29	占部浩一	エントロピーについて	エントロピーの定義(熱力学的、統計力学的、情報論的)を示し、その概念の応用される例に触れた。	6	藤沢市民活動推進センター
25	8	5	17	赤井喜久枝	ヴェトナム・ホーチミン紀行	ベトナムというと暗いベトナム戦争が想起されるが、講師によるホーチミンの実像は発展を続ける明るい姿であった。	6	藤沢市民活動推進センター
WS	8	6	12	橋本壽之	リーダーシップ講座	農業に新風をと意気込む30-40代の若手農業経営者に状況対応リーダーシップの1日研修を行った。	11	神奈川県農業技術センター
26	8	6	21	岩澤美保*1	足と靴について	フットケアの専門家により、足のトラブル解決から足の健康法まで、靴の選び方も含めた説明が行われた。	10	藤沢市民活動推進センター
27	8	7	26	橋本壽之	リーダーシップとグローバル的視点	ロシアやアジア諸国の国家戦略に目を配りつつ、日本のグローバル化の現状、これから取るべき道を論じた。	6	藤沢市民活動推進センター
28	8	9	20	大纏トシ子	ルピア暴落、その後の10年	10年前に起きたインドネシアのルピア大暴落を現地で体験した講師の、実感による社会変化の報告であった。	9	藤沢市民活動推進センター
29	8	10	18	占部浩一	常識に従って大丈夫か	新聞、TVで流される常識には科学的に不正確なものがいろいろあり、冷静な対応が必要なことを事例で示した。	5	藤沢市民活動推進センター
WS	8	11	12	永田典子 赤井喜久枝	日本語研修 - 理想の結婚相手はどんな人？	インドネシアからの技術者を対象とした3回目の日本語トークン。資料を一人ずつに読ませ、質問を受けたりした。	9	SFC-IV
30	8	11	15	原弘之輔	ファッションの話	オートクチュールの歴史的変遷ということで、フランスのパリコレと日本の社会的背景とおしゃれ感覚の話があった。	4	藤沢市民活動推進センター
WS	8	11	19	橋本壽之	リーダーシップゲーム研修	新規開発したゲームが、果たして開発者の意図通りに実現できるか、初回のfield trialを行った。	3	藤沢市民活動推進センター

WS	8	11	27	山本利昭 赤井喜久枝	第4回日本語研修 - 今、日本で行ってみたい場所はどこですか？	ITソフトウェア開発会社アイコア社のインドネシア技術者を対象とした日本語トーキング。	9	SFC-IV
31	8	12	13	山本利昭	日本語学習法あれこれ	アイコア社のインドネシア技術者7名がこの1-2年に学んできた日本語学習法が紹介された。	13	SFC-IV
WS	8	12	17	山本利昭 永田典子	母国語(現地語)よりも英語を優先して教育するべきだ	インドネシアのIT技術者6名が2組に分かれてディベートを行った。	10	SFC-IV
32	9	1	17	橋本壽之	「どっちリーダー」ゲーム - 仕事の頼み方 -	リーダーはどのように振る舞えば部下にきちんと仕事をしてもらえるか、ゲームを通して体得してもらうことを目的とした。	7	湘南台図書館
33	9	2	21	原弘之輔	瀬戸内「周防大島」の現状 - 代表的少子高齢化の島 -	漁業と農業の歴史を省み、少子高齢化にゆれ動く現状と新しい動きが報告された。	8	湘南台図書館
WS	9	2	25	赤井喜久枝 永田典子	オバマ大統領のような人が何故日本やインドネシアではでないのか	インドネシア技術者対象の日本語研修で、日本語によるディスカッションを行った。	9	SFC-IV
WS	9	3	18	赤井喜久枝 永田典子	インドネシアのいいところ 日本の良いところ。そして夢 何をする	インドネシア技術者対象の日本語研修で、日本語によるディスカッションを行った。	9	SFC-IV
34	9	3	21	星崎康弘	マクロ経済学からみた日本経済回復のための施策	国は赤字国債に財源を求め、大幅減税・給付金を続け、企業は雇用・賃金水準維持に努力し、景気を回復すること。	8	藤沢市民活動推進センター
35	9	4	18	山田豊文	経営コンサルティングにおける一面の真実	コンサルティング業界では、外資系ファームがいち早くIT活用を始め、国内ファームを圧倒している。	6	湘南台図書館
36	9	5	16	橋本壽之	変革とリーダーシップ	近年の各分野での変革に追随するため、リーダーにも変革が求められる。成熟社会では「winの場」の構築が重要である。	7	湘南台図書館
37	9	6	13	大纏トシ子	絶滅に近い希少な三つの花	講師が出会った珍しいラフレシア、ショクダイオオコンニク、ヒスイカズラの花の写真とエピソードが語られた。	9	藤沢市民活動推進センター
38	9	7	18	占部浩一	相対性理論は間違っているのか	相対性理論は学界では正しいと認められているが、間違っていると主張する人も世に絶えない。その理由を考える。	7	江ノ島ヨットハーバー
39	9	9	5	赤井喜久枝	インドネシアの看護師・介護士候補者たちはいま・・・	日本の人手不足とインドネシアの就職難との解決策ではあるが、日本での条件が厳しく帰国者が多数になりそうである。	10	湘南台図書館
40	9	10	17	伊藤直子 <sup>*2</sup>	病気にならないための知識	身近にある合成洗剤(シャンプー、台所・洗濯洗剤)の人体への影響について考えると、石鹸の方が勧められる。	7	藤沢市民活動推進センター
41	9	11	22	青木正幸 <sup>*3</sup>	ハワイの魅力	ハワイは人柄、生活が穏やかで日本人には馴染みやすい。土地に溶け込むにはその土地の言葉で歌うのが一番だ。	8	藤沢市民活動推進センター
42	9	12	19	橋本壽之	ノーベル賞受賞者に見る創造性とリーダーシップ	幼い頃から感性を磨き、受賞するまでには相当長期的展望に立たなければならない。直観、セレンディピティも重要である。	6	SFC-IV
	10	1	16	山本利昭	マイスターネットのあり方	社会との接点を増やすため、最近のトピックをテーマにした討論会などを考える。	7	湘南台図書館
43	10	2	13	岡島さやか <sup>*4</sup>	日本の一学生が見たフィンランドの教育現場	日本の大学生が一年間フィンランドに滞在し、14の小学校を回って学んだり教えたりした体験報告である。	8	藤沢市民活動推進センター

44	10	3	20	永田典子	「ヘンリー六世」と英仏戦争	最近日本でも30年振りで上演された3部9時間のシェイクスピアの戯曲。当時の歴史、内容等が解説された。	8	藤沢市民活動推進センター
45	10	4	10	原弘之輔	フランスワイン 原産地とその生き立ち	フランスに造詣の深い講師により、各産地のワインの説明があり、各種の実物を賞味して談論風発の夜が更けた。	9	SFC-IV
46	10	5	16	宮田英夫 <sup>*5</sup>	「善行雑学大学」その概要と現状について	地域社会に根を下ろした住民のための大学で、すでに132回開講され、講師はボランティア、会場費、受講料、無料。	5	湘南台図書館
47	10	6	19	正木重夫 <sup>*6</sup>	「ジェネリック医薬品」その期待と評価	後発で安いので医療費抑制の効果が期待される。品質保証のデータが十分でないものもある。	7	藤沢市民活動推進センター
48	10	7	24	山本利昭	IT時代の日本語学習	インドネシアのIT技術者に日本語を教えた経験から、漢字を減らす、文法を簡素化する、などで学習が容易になるという。	9	藤沢市民活動推進センター
49	10	8	21	長谷川晃	フランスとの出会い - ある置手紙-	日本人が初めてフランス語に接したのは、ロシア人の置手紙によってであった。その他、国際文化論が展開された。	9	藤沢市民活動推進センター
50	10	9	25	馬場秀雄	NGO活動の紹介 その活動の例と課題について	NGOの歴史、特徴的な活動項目などが説明された。英国では1942年にOxfamが結成されている。	9	藤沢市民活動推進センター
51	10	10	16	橋本壽之	イノベーションとリーダーシップ	不連続的な急激な変化が起きる現代社会における、イノベーションとリーダーシップの意義と効用が論じられた。	7	湘南台図書館
52	10	11	21	熊崎幸太郎	特養などでのリハビリ指導の日々で思うこと	特養の機能訓練士である講師の感じたこと、考えたことが述べられ、特養での生活のコツも伝授された。	7	湘南台図書館
53	10	12	18	山本利昭	漢字廃止、是か非か	「公文書は漢字800字で記述すべし」というテーマについて全員参加のディベートが行われた。	9	SFC-IV

#### 会員外講演者

- \*1 「ポドロゲストcR」というフットケアの技法を学び、藤沢で足専門店「フットケアルーム ティエラ」を開業している。
- \*2 原氏の知人。藤沢市石けん推進協議会。
- \*3 大正15年生。藤沢市市民局生活環境部長、市民会館館長、等を歴任。
- \*4 大学生。
- \*5 善行雑学大学代表理事。
- \*6 製薬業界で40年余の業務経験を積む。



記念すべき第1回



第3回 鍼灸の実演



第10回 インドネシアの技術者



第13回 最新の研究成果発表



第14回 熱弁をふるう講師



第15回 講師を囲んで



第21回 香水の話



第22回 インドネシア青年と共に



第26回 足のストレッチ体操



第28回 臨場感あふれる講演



第30回 ファッション雑誌に見入る



第31回 日本語も自由自在に





第 32 回 ゲームを体験



第 35 回 経営コンサルタントを迎え



第 36 回 自信に満ちた解説



第 37 回 スライドに見入る参加者



第 38 回 ヨットに揺られて水上講演



第 39 回 勉強の成果を披露



第 41 回 大正 15 年生の迫力講師



第 44 回 講師を囲んで



第 45 回 ワイン片手に乾杯！



第 46 回 「善行雑学大学」代表



第 50 回 熱心に耳を傾ける参加者



講演を終えて皆で乾杯！